

中国大陸から飛来する黄砂の観測が、今月に入って県内でも相次いでいる。黄砂により目を痛める可能性があり、車の汚れも頭が痛いところ。対応策について専門家に話を聞いた。

黄砂の飛来 どうする？

黄砂には近年、重化学工業化が進んだ中国の都市部で排出された有害物質が付着し、人の健康に影響を及ぼす恐れもあるといわれている。宇土市で眼科医院を開く村上茂樹医師(51)は「順天堂大客員准教授」は「この時期のアレルギー性の症状は黄砂が原因とも考えられる」と指摘する。

村上医師は5月以降の目



村上茂樹医師

やに、かゆみなどアレルギー性結膜炎の症状は、黄砂が運んできた物質がアレルギーの原因物質であるアレルギーンになっている可能性があるという。「黄砂に付着した窒素酸化物などの大気汚染物質や、カビや微生物の死骸などのタンパク質がアレルギーと考えられる」目にかゆみや異物感があると、つい目を洗いがちだが、村上医師は「洗うにし

かゆみ・異物感 洗い過ぎずに

屋外長時間ならゴーグルを



黄砂の侵入を防ぐゴーグルタイプのサングラス

ても毎日ではなく、異常があったときに数十秒程度。それも緊急でない場合は不純物が混じる水道水ではなく、市販の洗眼液を使うこと」と強調。「目を洗い過ぎるとドライアイの原因になり、深刻なダメージを与えてしまう」

ただ、千分の1以下の黄砂の目への侵入を防ぐのは難しい。屋外に長時間いる場合は、ゴーグルタイプ

のサングラスを着用するのが効果的という。村上医師は、黄砂が入った目をこすりすぎると角膜に傷が付き、角膜炎の原因になるとも指摘。「治療が遅れると角膜潰瘍による視力低下など、深刻な事態を招きかねない。市販の点眼薬だけで放置せず、異常を感じたら早めに専門医の診察を受けてほしい」と話している。

(東寛明)